

# 2020 年度報告 横浜市青少年育成センター

## 1 施設の管理運営

コロナ禍の影響により、4月、5月は臨時休館、スタジオにおいては7月まで使用停止となりました。施設再開後は、利用時間や定員の縮小、活動の制限など感染拡大の防止に努めながら運営にあたりました。その後も緊急事態宣言やまん延防止対策、緩和措置など感染状況に応じて行政から度重なる対応を求められましたが、都度、丁寧な説明や連絡を行うことで混乱なく利用者から協力を得ることができました。一方、施設利用時においては感染防止対策を徹底するとともに、全室に業務用オンライン対応のWi-Fi 設置やオンライン会議の機材などの整備、また、オンライン初心者には職員が設定や運用のサポートを行うなど、制限がある中でも利用団体が滞りなく活動できるよう支援しました。

コロナ禍で相次ぐキャンセルや利用を控える団体も多く稼働率も低下してしまいましたが、コロナ後の施設運営を見据えて、利用団体とともに安全に活動するための利用の工夫や新しい利用方法を模索するなど、安全でより便利な施設として活用してもらえるよう努めています。

### 【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用団体	利用人数	印刷室利用	相談件数	稼働率
2016	338 日	5,033 件	59,449 人	730 件	51 件	74.3%
2017	325 日	3,408 件	44,258 人	410 件	40 件	62.1%
2018	325 日	2,834 件	37,918 人	396 件	71 件	55.4%
2019	311 日	4,105 件	50,857 人	548 件	93 件	66.1%
2020	281 日	2,010 件	19,625 人	292 件	71 件	39.8%

※2017年12月～2018年9月まで関内ホール工事のため、仮施設で運営しました。

※2020年3月～5月は新型コロナウイルスの影響で臨時休館となっています。

## 2 施設の主な事業

### (1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、ネットワーク形成の実施）

コロナ禍でも青少年への関心や育成者関係のつながりが途絶えないように、定員縮小や検温・消毒といった感染予防対策のうえでのリアル開催のほか、オンラインを活用した事業展開を行いました。

青少年理解の基礎講座では、社会的関心の高い「性」「虐待」「依存」という新しいテーマの理解研修を実施したほか、「講座終了証」を発行し受講者の参加意欲と活動意欲を高めました。

ネットワーク形成を目的に開催している「子ども・若者に関わる関係者の大交流会」は、今年度はオンライン開催に切り替え 26 団体の参加を得てコロナ禍での活動状況など情報共有を行いました。また、新たに次世代育成を目的とした大学生のボランティア活動として、オンラインを活用した地域活動の取材と SNS での配信など、新しい形の社会参加プログラムを展開しました。

### (2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

4月、5月は緊急事態宣言により臨時休館となりましたが、相談窓口（電話、メール）は開設しました。コロナ禍で在宅を強いられることで親子関係などに悩む相談も寄せられました。また、コロナ禍で地域に足を運べない状況もあったため、コロナ禍でも活動している地域の青少年活動取材し、育成センター情報紙「青少年通信」を通じて、青少年活動の発信を行いました。新たに「note」という SNS アプリを活用し、青少年世代にも情報が届くよう工夫しました。

会議室・スタジオ利用状況

月	開館 日数	減免 件数	コマ数 (a)	利用団体数(b)					稼働率(b/a)					利用人数			
				計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
累計	281	239	5,049	2,010	261	783	805	161	39.8%	5.2%	15.5%	15.9%	3.2%	19,625	2,981	10,123	6,521
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6	6	0	0
6	29	12	432	99	3	37	47	12	22.9%	0.7%	8.6%	10.9%	2.8%	842	18	342	482
7	29	28	416	122	0	67	41	14	29.3%	0.0%	16.1%	9.9%	3.4%	1,214	74	744	396
8	28	33	556	140	21	50	40	29	25.2%	3.8%	9.0%	7.2%	5.2%	1,141	192	571	378
9	28	34	556	229	42	80	88	19	41.2%	7.6%	14.4%	15.8%	3.4%	1,920	278	992	650
10	30	33	620	269	47	97	104	21	43.4%	7.6%	15.6%	16.8%	3.4%	2,623	341	1,384	898
11	29	10	568	269	11	120	128	10	47.4%	1.9%	21.1%	22.5%	1.8%	2,513	244	1,364	905
12	27	23	554	251	43	81	116	11	45.3%	7.8%	14.6%	20.9%	2.0%	2,068	185	1,128	755
1	27	13	442	173	30	65	67	11	39.1%	6.8%	14.7%	15.2%	2.5%	891	91	408	392
2	25	23	412	206	48	70	74	14	50.0%	11.7%	17.0%	18.0%	3.4%	1,673	252	734	687
3	29	30	493	252	16	116	100	20	51.1%	3.2%	23.5%	20.3%	4.1%	4,734	1,300	2,456	978

内訳

	月	コマ数 (a)	利用団体数(b)					稼働率(b/a)					利用人数			
			計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
<b>研修室1</b> 累計		970	529	42	306	98	83	54.5%	4.3%	31.5%	10.1%	8.6%	11,994	1,787	7,163	3,044
4	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
6	108	30	2	14	7	7	7	27.8%	1.9%	13.0%	6.5%	6.5%	406	16	206	184
7	104	50	0	35	8	7	7	48.1%	0.0%	33.7%	7.7%	6.7%	718	18	525	175
8	100	43	6	20	7	10	10	43.0%	6.0%	20.0%	7.0%	10.0%	717	98	388	231
9	100	66	9	39	11	7	7	66.0%	9.0%	39.0%	11.0%	7.0%	1,167	111	765	291
10	112	65	2	46	13	4	4	58.0%	1.8%	41.1%	11.6%	3.6%	1,461	125	1,011	325
11	102	71	1	43	22	5	5	69.6%	1.0%	42.2%	21.6%	4.9%	1,451	96	902	453
12	100	54	5	29	12	8	8	54.0%	5.0%	29.0%	12.0%	8.0%	1,186	60	742	384
1	81	39	2	20	7	10	10	48.1%	2.5%	24.7%	8.6%	12.3%	510	53	207	250
2	72	49	15	19	5	10	10	68.1%	20.8%	26.4%	6.9%	13.9%	859	79	422	358
3	91	62	0	41	6	15	15	68.1%	0.0%	45.1%	6.6%	16.5%	3,519	1,131	1,995	393
<b>研修室2</b> 累計		971	404	18	213	145	28	41.6%	1.9%	21.9%	14.9%	2.9%	3,064	160	1,660	1,244
4	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6	6	0	0
6	108	41	1	15	23	2	2	38.0%	0.9%	13.9%	21.3%	1.9%	301	1	98	202
7	104	31	0	15	15	1	1	29.8%	0.0%	14.4%	14.4%	1.0%	232	6	108	118
8	100	20	0	11	7	2	2	20.0%	0.0%	11.0%	7.0%	2.0%	130	4	72	54
9	100	47	0	22	20	5	5	47.0%	0.0%	22.0%	20.0%	5.0%	315	18	116	181
10	112	51	3	24	14	10	10	45.5%	2.7%	21.4%	12.5%	8.9%	453	20	193	240
11	102	51	3	30	16	2	2	50.0%	2.9%	29.4%	15.7%	2.0%	358	15	202	141
12	100	44	1	25	17	1	1	44.0%	1.0%	25.0%	17.0%	1.0%	336	6	190	140
1	79	28	5	15	7	1	1	35.4%	6.3%	19.0%	8.9%	1.3%	165	22	116	27
2	75	38	5	23	9	1	1	50.7%	6.7%	30.7%	12.0%	1.3%	302	44	208	50
3	91	53	0	33	17	3	3	58.2%	0.0%	36.3%	18.7%	3.3%	466	18	357	91
<b>ミーティングルーム</b> 累計		963	319	10	142	141	26	33.1%	1.0%	14.7%	14.6%	2.7%	1,604	102	726	776
4	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
6	108	21	0	5	13	3	3	19.4%	0.0%	4.6%	12.0%	2.8%	94	1	22	71
7	104	24	0	8	11	5	5	23.1%	0.0%	7.7%	10.6%	4.8%	112	0	45	67
8	100	25	0	12	9	4	4	25.0%	0.0%	12.0%	9.0%	4.0%	106	2	60	44
9	100	25	2	8	14	1	1	25.0%	2.0%	8.0%	14.0%	1.0%	126	8	49	69
10	112	45	5	12	22	6	6	40.2%	4.5%	10.7%	19.6%	5.4%	268	24	61	183
11	102	48	0	25	20	3	3	47.1%	0.0%	24.5%	19.6%	2.9%	267	25	133	109
12	100	34	0	14	18	2	2	34.0%	0.0%	14.0%	18.0%	2.0%	169	11	69	89
1	77	31	0	20	11	0	0	40.3%	0.0%	26.0%	14.3%	0.0%	135	6	85	44
2	72	29	3	16	10	0	0	40.3%	4.2%	22.2%	13.9%	0.0%	150	13	98	39
3	88	37	0	22	13	2	2	42.0%	0.0%	25.0%	14.8%	2.3%	177	12	104	61
<b>和室</b> 累計		957	197	7	122	60	8	20.6%	0.7%	12.7%	6.3%	0.8%	1,768	487	568	713
4	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
6	108	7	0	3	4	0	0	6.5%	0.0%	2.8%	3.7%	0.0%	41	0	16	25
7	104	17	0	9	7	1	1	16.3%	0.0%	8.7%	6.7%	1.0%	152	50	66	36
8	100	15	0	7	5	3	3	15.0%	0.0%	7.0%	5.0%	3.0%	110	32	51	27
9	100	20	0	11	9	0	0	20.0%	0.0%	11.0%	9.0%	0.0%	140	47	62	31
10	112	22	1	15	5	1	1	19.6%	0.9%	13.4%	4.5%	0.9%	224	61	119	44
11	102	28	0	22	6	0	0	27.5%	0.0%	21.6%	5.9%	0.0%	267	84	127	56
12	100	22	1	13	8	0	0	22.0%	1.0%	13.0%	8.0%	0.0%	224	84	127	13
1	75	16	1	10	5	0	0	21.3%	1.3%	13.3%	6.7%	0.0%	81	10	0	71
2	73	25	4	12	6	3	3	34.2%	5.5%	16.4%	8.2%	4.1%	174	36	0	138
3	83	25	0	20	5	0	0	30.1%	0.0%	24.1%	6.0%	0.0%	355	83	0	272
<b>スタジオ</b> 累計		1,188	561	184	0	361	16	47.2%	15.5%	0.0%	30.4%	1.3%	1,195	445	6	744
4	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0
8	156	37	15	0	12	10	10	23.7%	9.6%	0.0%	7.7%	6.4%	78	56	0	22
9	156	71	31	0	34	6	6	45.5%	19.9%	0.0%	21.8%	3.8%	172	94	0	78
10	172	86	36	0	50	0	0	50.0%	20.9%	0.0%	29.1%	0.0%	217	111	0	106
11	160	71	7	0	64	0	0	44.4%	4.4%	0.0%	40.0%	0.0%	170	24	0	146
12	154	97	36	0	61	0	0	63.0%	23.4%	0.0%	39.6%	0.0%	153	24	0	129
1	130	59	22	0	37	0	0	45.4%	16.9%	0.0%	28.5%	0.0%	0	0	0	0
2	120	65	21	0	44	0	0	54.2%	17.5%	0.0%	36.7%	0.0%	188	80	6	102
3	140	75	16	0	59	0	0	53.6%	11.4%	0.0%	42.1%	0.				

## 《目標設定時公表項目》 2020年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率 72% (前年度年間目標：70%) ②相談・情報提供業務 年間 100 件 (前年度年間目標：100 件)
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①青少年育成に関する講座・研修等への参加者数 延べ 600 人以上。(前年度年間目標：600 人以上) ②青少年育成に取り組む他団体と連携して、青少年育成者や、団体のネットワークを推進します。 連携事業：年 4 事業以上
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①職員の外部研修への参加 年 6 回以上。 育成センタースタッフの内部研修の実施 年 1 回 ②避難誘導訓練 年 2 回、 AED 講習会 年 1 回
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 210 万円 (前年度年間目標：200 万円) ②事業収入 120 万円 (前年度年間目標：120 万円)

## 《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率：72% ②相談・情報提供業務年間：100 件	①39.8% ②71 件	①32.2% ②29 件	①オンラインサポートなど時代のニーズに合わせたサービス提供を実施します。 ②オンライン相談の対応も検討します。
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①講座・研修等の参加者数延べ 600 人以上。 ②他団体との連携事業：4 事業以上	①665 人 ②5 団体	①65 人 ②1 団体	①コロナ禍においても、オンライン等を駆使して、研修・講座が届けられるよう努めます。 ②新しい団体との連携強化も図ります。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①外部研修への参加 年 6 回以上 ②避難誘導訓練 2 回 AED 講習会 1 回	①29 回 ②避難 2 回 AED 1 回	①23 回 ②なし	①オンライン研修を含め出来るだけ外部研修に参加し、外部情報の収集に努めます。 ②引き続き、利用者の安全確保に努めます。
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 210 万円 ②事業収入 120 万円	①807 千円 ②562 千円	①1,293 千円 ②638 千円	①オンライン会議の配信拠点など新しい施設利用方法を提供していきます。 ②研修のオンライン配信など新しいサービスによる事業収入増加を図ります。

A 青少年活動を支援する事業 あ 施設貸与

事業名	実施日	件数	利用人数	備考
<b>1 利用者案内、利用相談、受付</b> <b>●会議室、スタジオ等の貸出</b> ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	4～3月	2,010件	19,625人	・件数内訳) 青少年 261件 育成団体 783件 一般 805件 法人利用 161件  ・登録件数内訳) 329件 青少年 31件 育成団体 78件 一般 173件
<b>●HPによる情報提供</b>	随時	・抽選予約状況(3か月前、毎月) ・スタジオ空室状況(2か月分・週1回更新および随時)		
<b>2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理</b> <b>●非常用物品の確認・点検</b> ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月随時	—	—	・地震および火災時の対応 非常灯表示 ・HPによる案内(帰宅困難者一時滞在施設) ・備蓄品の購入と保管(水、軽食)
<b>●避難訓練の実施</b>	①10/16 ②2/19	年2回	—	・避難誘導訓練 ・防災盤取り扱い訓練
<b>●スタッフ救急研修</b>	8/14	年1回	—	・メディカル・ファースト・エイド講習会(資格取得)
<b>●修繕等の実施</b> ①地下1階、2階Wi-Fi設置工事 ②地下2階廊下壁修繕 ③地下2階廊下床修繕	①8/26、3/12 ②3/14 ③3/29	年4回	—	・利用者用フリーWi-Fiの設置 ・廊下壁紙張替え ・エレベーター前ほか床張り替え
<b>3 利用者サービス向上のための取り組み</b> <b>●活動支援室(プリントルーム)事業</b>	4～3月	292件	—	印刷機/コピー/ラミネート製本作業等の活動支援事業
<b>●館外貸出物品事業(着ぐるみ)</b>	—	—	—	コロナ感染防止の為、貸出停止中
<b>●利用サービスの向上</b> 交流スペース、ワークルームの運営 利用者用ロッカーの貸出	通年	—	—	・個別学習コーナーの設置 ・子ども食堂寄付物品の中継支援 ・
<b>●利用者アンケートの実施</b>	3月	50件	—	・利用状況や利用者サービス、職員対応などを調査
<b>4 その他</b> 新型コロナウイルスの影響による 臨時休館	臨時休館 4/1～5/31	—	—	・休館に伴う利用者への連絡対応 事業参加者への連絡

A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
<b>青少年育成に関する相談・情報の収集と提供</b> ●相談・コーディネート	4～3月	71件	・窓口、電話、Eメールでの相談対応 ・研修講座終了後の相談対応 ・青少年活動企画のアドバイス、講師紹介 ・企業の社会貢献事業のコーディネート
●ユースライブラリーの運営 HPやSNS等による情報提供 館内空きスペースを活用したパネル展	随時	—	・青少年に関する書籍の収集・配架・貸出 ・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供 ・青少年統計データ、ボランティア情報提供 ・青少年に関する書籍の貸出とデータベース化 ・青少年通信の発行2回4,000部 800カ所配布 ・Facebook等のSNSでの情報発信 ・パネル展の実施「性的少数者」、「デートDV」
●相談・助言の対応の向上 (スタッフスキルアップ研修等)	①毎月 ②2/5 ③随時	—	①月例会議でのケースカンファレンス(毎月) ②受付スタッフのファシリテーション研修 ③外部研修への職員の参加(29件) ・ハラスメント対策講座 ・コロナ時代のコミュニティマネジメント ・若者のメンタルヘルス対応研修 ・ひきこもり・不登校対応セミナー ほか

A 青少年活動を支援する事業 お 調査、資料収集

●第三者による事業の検証	①3/25 ②3/29	2回	今回の座談会では、コロナ禍により新しい生活様式が求められる中で、従来の貸館や情報提供だけでない“新しい施設の活用方法”に焦点を当て、育成センターの機能や役割を知っている関係者(特に市域の活動実践者)と、若者の利用促進を図るために大学生クラスの若者グループと話し合う機会を持ちました。
--------------	----------------	----	---

B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

日常の関わりの中で包括的に青少年を支え、青少年や地域が抱える課題に対して、青少年自身または地域の活動者・実践者に寄り添い、共に考え伴走していけるような人材の広がりを目指し、事業を企画・実施しています。

講座・研修は、青少年理解の基礎的な内容から、活動者・実践者が学びを積み上げていく連続講座、活動現場の実践で活かせるスキルアップ講座、青少年に関わる方々が出会い学び合う交流会やフォーラムなど、参加者それぞれの立場やレベルに合わせた研修体系となっています。

事業名	実施日	参加人数	備考
<b>&lt;子ども青少年の理解につながる講座&gt;</b> <b>(前期 基礎編)</b> ①「学校」いじめ・不登校ひきこもり支援の今 講師：七里ヶ丘子ども若者研究所 滝田 衛氏 ②「発達」実践や気づきに繋がる発達心理学 講師：臨床心理学博士 中本 テリー氏 ③「性」思春期相談の現場からつたえたいこと 講師：思春期保健相談士 千田 陽子氏 ④「家庭」虐待・貧困から子ども若者を守る取組 講師：NPO法人つなぐ 飛田 桂氏 ⑤「依存」今、知っておくべき依存症のこと 講師：こころの健康相談センター 白川 教人氏  ・定員20人(感染防止の為、定員を縮小) ・参加費：各回500円 ※全回参加者には「終了証」を発行 ※1回目はオンラインと平行開催	①8/31 ②9/1 ③9/9 ④9/23 ⑤9/28	①42人 ②20人 ③20人 ④19人 ⑤21人  計122人	コロナ禍の影響により、登壇いただける講師探しや開催方法の検討など苦勞しました。今回は「性」「虐待」「依存」という社会的関心の高いテーマにも取り組んだことで、講師のランナップの幅を広げることにもつながりました。 第1回目は会場とオンラインを併用して開催するなど、新しい開催方法にも取り組みました。また、「性」の回では「からだの発育」も不登校の理由となることが分かるなど、各回とも関連深い内容となりました。参加者からは、オンラインだと気軽に参加できて有難いという声が聞こえる一方、講師の熱意や雰囲気が伝わりにくく、理解を深めるにはリアルさも必要であるとの意見もありました。コロナ感染状況にもよりますが、参加者にとってより参加しやすく、また理解を深めることができるような開催方法の工夫も検討していきたいと思っております。

事業名	実施日	参加人数	備考
<p><b>&lt;子ども青少年の理解につながる講座&gt;</b> (後期 発展編)</p> <p>①「家庭」～トラウマのメガネ～ 講師：NPO法人つながぐ 飛田 桂 氏</p> <p>②「発達」～発達障がいと発達心理学～ 講師：臨床心理学博士 中本 テリー 氏</p> <p>③「性」～デートDVの相談事例と対策～ 講師：思春期保健相談士 千田 陽子 氏</p> <p>④「自傷・自殺」～生きづらい子どもへの支援～ 講師：児童精神科医 竹内 直樹 氏</p> <p>⑤「学校」～支援現場のこれから～ 講師：七里ヶ丘子ども若者研究所 滝田 衛氏</p> <p>・定員 20 人(感染防止の為、定員を縮小) ・参加費：各回 500 円 ※全回参加者には「終了証」を発行</p>	<p>①2/12</p> <p>②2/18</p> <p>③2/24</p> <p>④3/1</p> <p>⑤3/10</p>	<p>①19 人</p> <p>②20 人</p> <p>③19 人</p> <p>④20 人</p> <p>⑤20 人</p> <p>計 98 人</p>	<p>後期の講座は、前期の基礎編に参加した人を想定して「発展編」として組み立てました。その為、講座の内容は、より具体的な支援方法や対処方法がメインだったため、後期からの参加者からは「難しかった」という意見が聞かれましたが、前期からの参加者からは、「具体的な内容で、前期の内容をより深まめることができた」という声が多くあり、連続して受講することで青少年課題が複合的に関係しているということに気づいてもらうことができたと感じます。次年度は、連続で受講することのメリットや必要性をより明確に打ち出し、専門的事項を連続で学べる講座も企画していきたいと思います。</p>
<p><b>&lt;青少年と関わるためのスキルアップ研修&gt;</b></p> <p>①メディックファーストエイド講習会 講師：NPO 法人体験学習研究会 二宮 孝 氏 ・定員 10 人 参加費：12,000 円 ・内容：コロナ禍の応急救護、AED ほか</p> <p>②都会の中での自然遊び講座 講師：一般社団法人 遊心 峯岸 由美子 氏 ・定員 20 人 参加費 1,500 円 ・内容：都市公園での自然遊びテクニック</p>	<p>①8/14</p> <p>②1/8</p>	<p>① 8 人</p> <p>②10 人</p> <p>計 18 人</p>	<p>コロナ禍において実践形式の研修を行うことは高リスクでしたが、消毒物品や教材準備、ソーシャルディスタンスを取った講座運営など細心の注意を払って実施しました。研修の内容は、感染症対策も含まれた応急救護研修であったことや密になりにくい野外での実践研修というように、コロナ禍においても活用できる内容にしたことで参加者の満足度や活用度を高めることができました。コロナ禍でも安全に開催できる研修の手法の一つとして参考にしてほしいと思います。</p>
<p><b>&lt;次世代人材の育成研修&gt;</b> 若者の社会参加プログラム 「オンラインボランティア」 ・定員 10 人</p> <p>&lt;内容&gt; ・タウンニュース記者との交流会 ・オンライン取材 2 回 note にて取材報告 ・毎月第 2・第 4 にオンライン交流会 ・適宜オンラインで個人面談や活動相談</p>	<p>通年</p>	<p>26 人</p>	<p>緊急事態宣言中だったこともあり、オンラインを活用した若者コミュニティーを作り、地域社会に関心を持つきっかけを提供するために企画しました。「オンラインでもできるボランティア活動」に着目し、大学生世代が地域の青少年活動をオンラインで取材し発信するといった、新しい形のボランティア活動に取り組みました。 新しい形の青少年育成活動のモデルとなるよう、運営のノウハウや若者世代の意見や考えを分析して発信していきたいと考えています。</p>
<p><b>&lt;活動に役立つマネジメントセミナー&gt;</b></p> <p>①写真の撮り方 ワンステップアップ講座 講師：日本写真作家協会 坂元 豊 氏 ・定員 20 人 参加費：1,500 円 ・内容：SNS で配信するため画像編集ほか</p> <p>②ウイブ コロの活動に役立つ「SNS 活用講座」 講師：横浜コミュニティデザインラボ 杉浦 裕樹 氏 ・定員 20 人 参加費：1,500 円 ・内容：1 回目：各 SNS の特徴と、活用術 2 回目：SNS を活用した資金調達等 ※オンライン開催に切り替えました。</p>	<p>①11/30</p> <p>② 1 回目 3/19</p> <p>2 回目 3/26</p>	<p>①10 人</p> <p>② 1 回目 8 人</p> <p>2 回目 9 人</p> <p>計 27 人</p>	<p>写真講座も SNS 活用講座も、これからの新しい広報スタイルである SNS を活用した広報戦略に活かせる内容としました。チラシ配布後は問い合わせが相次ぐなどニーズの高さを感じましたが、感染状況により開催をオンラインへ切り替えたことで、オンライン対応できない参加者のキャンセルが発生するなど、開催の工夫を考える必要があると感じました。しかし、オンライン開催にしたことで、オンライン講座の開催ノウハウを得ることもできたので、今後に生かしていきたいと思います。</p>

事業名	実施日	参加人数	備考
<p><b>&lt;青少年の居場所づくり実践見学会&gt;</b>            ①世田谷区立希望丘青少年交流センター            「アップス」(中高生の居場所づくり)            講師：センター長 下村 一 氏            ・定員：10人 参加費：500円</p> <p>②川崎市ふれあい館            (多文化共生の居場所づくり)            講師：副館長 鈴木 健 氏            ・定員：10人 参加費：500円</p>	<p>①3/13</p> <p>②3/17</p>	<p>①4人</p> <p>②6人</p> <p>計10人</p>	<p>初めて試みた企画で、オンラインを駆使した見学会など新しい手法を施行することができました。このことで遠方の施設とも交流見学会が行えるほか、全国の青少年施設とも繋がる可能性が出てきました。また、川崎のふれあい館では、多文化や差別、民族といった内容にも触れることができ、居場所づくりの原点のような考えを学ぶこともでき、個人ではなかなか体験できない機会を提供できたと思います。車いすの高校生も参加してくれたことで、多様な視点から意見交換できたことや見学先にも学びを与えられたのではないかと考えます。</p>
<p><b>行政機関や青少年支援団体等と連携した 人材育成</b></p>	<p>通年</p>	<p>5団体            ①285人            ②46人            ③82人            ⑤16人</p>	<p>青少年育成団体等との協働により、幅広い人材の養成を図りました。</p> <p>①NPO法人よこはまチャイルドライン            「子ども支援者養成講座2019」</p> <p>②横浜市母子寡婦福祉会「養育費セミナー」</p> <p>③日本作法会 横浜関内教室            「心を育てる講座 こども作法」</p> <p>④横浜市教育委員会 人権教育・児童生徒課            「横浜プログラム指導者養成研修」</p> <p>⑤おもしろ科学たんけん工房            「理科推進スタッフ体験講座」</p>
<p><b>&lt;青少年団体等のネットワーク形成事業&gt; 「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の 大交流会」</b></p> <p>※「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の 大交流会」を開く会との共催            ※感染拡大防止のため、オンラインにて開催</p>	<p>6/28</p>	<p>26団体            30人</p>	<p>コロナ感染状況を考慮して、オンラインにて開催しました。その為、希望してもオンライン環境がなく参加できない人がいたことは残念でしたが、コロナ禍で不安や孤独を感じていた実践者にとっては、久しぶりに人と繋がる機会となったようで、オンライン開催の意味はあったと感じています。また、オンラインでも全体での意見交換やテーマ別の話し合いもスムーズに行えることが分かりました。リアルに会う機会を欲する意見も多くあったため、リアル交流会とオンライン交流会の同時開催も含め、新しい事業展開を考えていきたいと思っています。</p>
<p><b>&lt;青少年団体等のネットワーク形成事業&gt; よこはまユースゼミ</b></p> <p>テーマ：「子ども青少年の主体性とは何か？」</p> <p>第1回 「主体性とは何か？」            ゲストスピーカー：柳下換（横浜市大講師）</p> <p>第2回 「子どもの遊び場から考える」            ゲストスピーカー：松本耕治（YPCネットワーク）</p> <p>第3回 「居場所づくりの現場から考える」            ゲストスピーカー：濱地志音（さくらリビング）</p> <p>第4回 「放課後等デイの現場から考える」            ゲストスピーカー：沖田幸一（キッズコネクション）</p> <p>第5回 「フリースクール・多文化共生の現場から」            ゲストスピーカー：西涼光（トレボル日本語教室）</p> <p>第6回 「全体ふりかえり」            講師：柳下換（横浜市大講師）</p>	<p>①11/19</p> <p>②12/17</p> <p>③1/21</p> <p>④2/18</p> <p>⑤3/18</p> <p>⑥3/25</p>	<p>①12人</p> <p>②12人</p> <p>③11人</p> <p>④15人</p> <p>⑤14人</p> <p>⑥11人</p> <p>計75人</p>	<p>今年度はゼミテーマを「青少年の主体性」に設定して開催しました。初心者気軽に参加できるテーマではなかったため、既に活動してある程度の経験を有する人を募るため、育成センターのFacebookに繋がっている関係者を中心に参加を募りました。結果、居場所づくり関係者、他法人の放課後キッズスタッフ、少年医療関係者、青少年育成研究者、プレイパークリーダーなど、多様な参加者を得られました。しかし、コロナ禍の影響で開催方法の変更があり参加者の継続意欲が削がれ、継続参加者が少なくなってしまったのは残念でした。しかし、今回はゲストスピーカーとして若者が登壇する機会を設けたことで、次世代育成の場にもなり、また、成熟途中の考えや経験だったことにより、普段より闊達な意見交換を行うことができました。今後もこのゼミは、形式にとらわれず多様な人々が集い、対話を通して自身の成長や他者との関係性を築く場として設定していきたいと思っています。</p>

2020年度 育成センター施設管理業務報告 【4月～3月】

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回	4/13、5/11、6/8、7/13、8/12、9/15、10/12、11/9、12/14、1/12、2/9、3/8	関内H
フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回	4/13、5/11、6/8、7/13、8/12、9/15、10/12、11/9、12/14、1/12、2/9、3/8	関内H	
電気設備	電気設備(受電、配電)	年次点検	年1回(9月)	9/14	関内H
	自家用発電設備	年次点検	年1回(9月)	9/15	関内H
消防設備	消防設備	機器・総合点検	年2回(9月、3月)	9/15、3/22	関内H
中央監視装置	中央監視装置	本体・制御点検	年2回(8月、2月)	8/12、2/9	関内H
エレベーター設備	エレベーター設備	月例点検	月1回	4/13、5/11、6/8、7/13、8/12、9/15、10/12、11/9、12/14、1/12、2/9、3/8	関内H
	カーリフト	総点検	年1回(6月)	6/8	関内H
防火シャッター設備	防火シャッター設備	定期点検	年1回(2月)	2/9	関内H
自動ドア設備	自動ドア設備	定期点検	年4回(6,9,12,3月)	6/8、9/15、12/14、3/8	関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	室内空気環境測定		年6回(奇数月)	5/27、7/15、9/10、11/17、1/7、3/12	関内H
	給水飲料水水質検査		年2回(8月、2月)	8/17、2/16	関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回(8月、2月)	8/11、2/8	関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(5月)	5/12	関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(5月)	5/12	関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回(10月、2月)	10/12、2/9	関内H
	排水管清掃				関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年5回	4/13、7/13、11/9、3/22	関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清	年1回	2/9	関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)	5/11、7/13、9/15、11/9、1/12、3/8	関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H



## 2020 年度

### 利用者アンケート集計結果

いつも横浜市青少年センターをご利用いただき、ありがとうございます。また、アンケート期間中は回答にご協力いただき誠にありがとうございました。

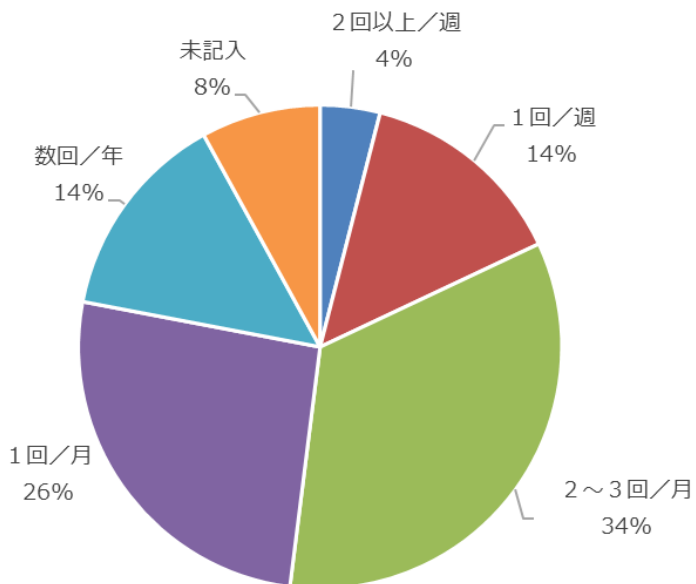
お陰をもちまして、50 件の回答をいただくことができました。育成センターの機能についてお寄せいただいたご意見を次のようにまとめました。

(アンケート期間：2021年3月1日～3月31日)

### 利用頻度について

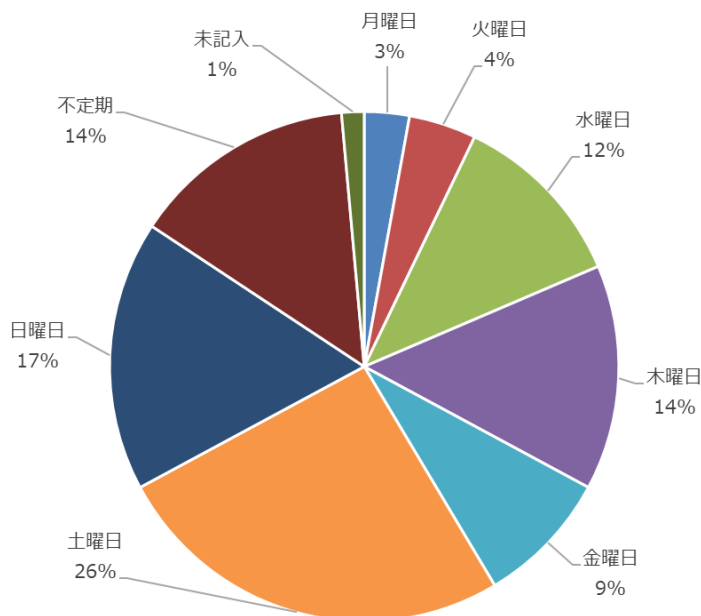
#### (1) 育成センターの利用頻度は？

2回以上/週	2
1回/週	7
2～3回/月	17
1回/月	13
数回/年	7
未記入	4
計	50



#### (2) 利用の曜日はいつですか？ (複数回答可)

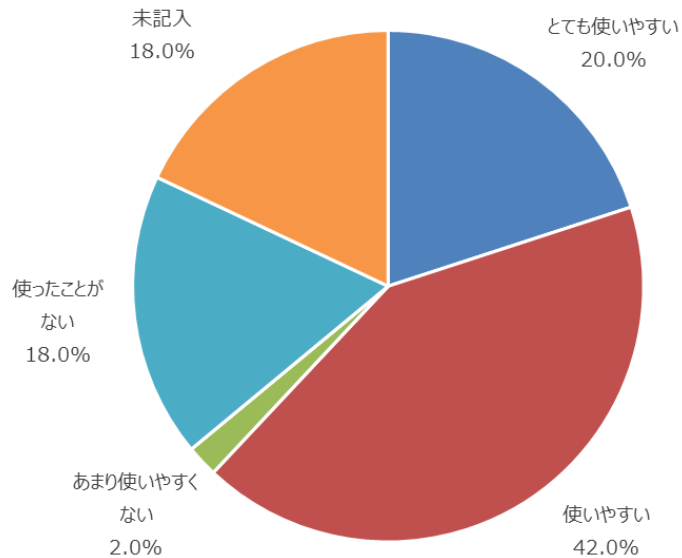
月曜日	2	土曜日	18
火曜日	3	日曜日	12
水曜日	8	不定期	10
木曜日	10	未記入	1
金曜日	6	計	70



### 設置機材や貸出機材について

#### (1) 設置機材や貸出機材の満足度は？

とても使いやすい	10
使いやすい	21
あまり使いやすすくない	1
使いにくい	0
使ったことがない	9
未記入	9
計	50



## 設置機材や貸出機材について意見や要望

### <とても使いやすいと回答の方の意見>

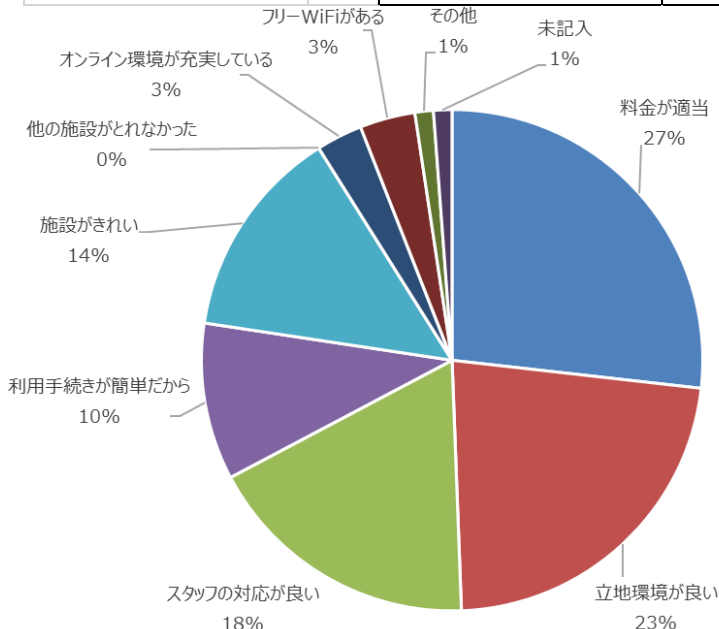
- ・いろいろそろっている
- ・スタッフの方の対応が素晴らしい
- ・ギター アンプやドラムが使いやすい
- ・スタジオが広く機材が充実している
- ・無料であること・職員のサポートが親切
- ・利用当日に新しく貸出機材をお願いしても臨機応変に優しく対応してくださったから

### <使いやすいと回答の方の意見>

- ・PAの出力が足りません。
- ・リバーブの先がいまいち
- ・Wi-Fi すぐに使えた
- ・アンプ、ミキサーは使いやすい
- ・マイクからアンプへの距離が少し遠い
- ・解放用のパソコンから印刷(数枚程度)したり大量印刷も出来るのは助かります。
- ・印刷機を利用した。使用料が安い
- ・各楽器のアンプ・ドラムがそろっていてすぐに演奏の練習ができる
- ・スタッフの方から親切に教えて頂ける
- ・適切な機材です。

## センターを利用する理由

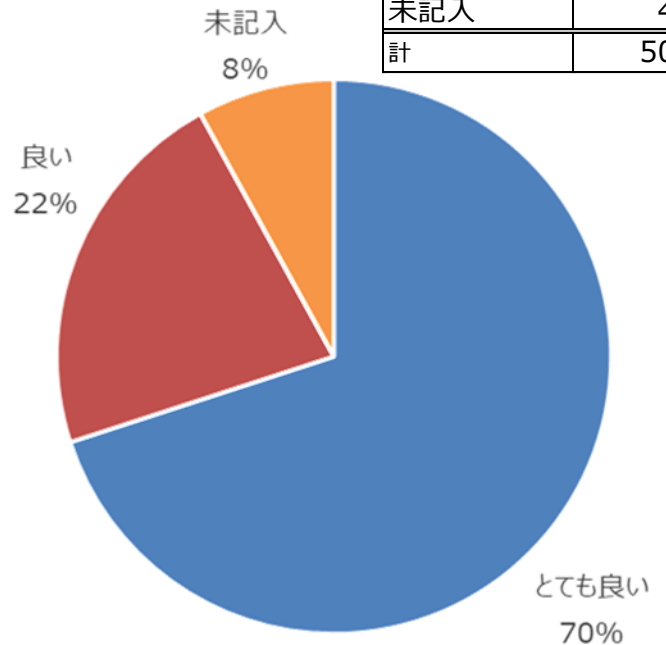
料金が適当	45	他の施設がとれなかった	0
立地環境が良い	38	オンライン環境が充実している	5
スタッフの対応が良い	30	フリーWiFiがある	6
利用手続きが簡単だから	17	その他	2
施設がきれい	23	未記入	2
		計	168



## 職員の対応に関すること

受付窓口の職員対応（あいさつ、話し方、要望への対応）について

とても良い	35
良い	11
普通	0
あまり良くない	0
良くない	0
未記入	4
計	50



### <とても良い>

- ・愛想よく対応して下さったから
- ・いつもありがとうございます。大変助かっています
- ・いつも笑顔で親切に対応して下さいます。
- ・いつも親切に適切な対応をしてくださいます。
- ・利用時のアドバイスを丁寧にいただいています。
- ・気安く質問できる感じが良い
- ・コロナウイルスの影響で落ち着かない時期でも親切に対応してくださったから
- ・必要なものがあればすぐに用意してくれるのでありがたいです。いつもありがとうございます。
- ・ロッカー等考慮いただき有り難いです。

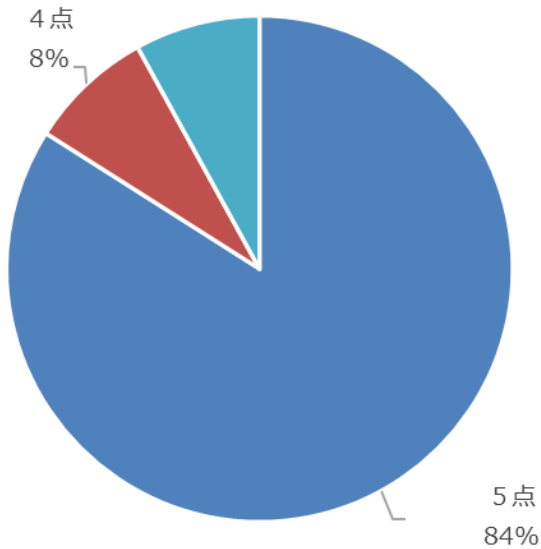
### <良い>

- ・いろいろな要望に対応してくれる。
- ・感じが良い
- ・親しみやすく 相談しやすい
- ・丁寧な方が多いです。
- ・皆さん笑顔でテキパキと対応して下さいありがとうございます。

## 総合評価

### 5点満点での評価

5点	42	1点	0
4点	4	0点	0
3点	0	未記入	4
2点		合計	50



### 意見や要望

- ・心地よく利用させていただいています。ありがとうございます。
- ・いつもお気遣い有難うございます
- ・いつも気持ち良く使わせていただいて感謝しています。
- ・現在、12:15~15:15を使用しておりますが、とても中途半端な時間で1時~4時位になると助かります。
- ・コロナで、対面活動が活発にできませんが、気持ちよく利用出来て感謝しています。
- ・ネット予約ができるとありがたいです。
- ・床の汚れが気になります。
- ・料金が安い事、施設がきれいな事、大変ありがたいです。
- ・和室のふすまが、すぐにたおれてくるので、はずしてほしいです。ただふすまが必要な利用団体があれば仕方ないですが

以上

体系	項目	自己評価
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与 諸室および物品の貸出	<p>2017年－2018年の関内ホール改修工事に伴う一時移転により、一部利用者が離れてしまいましたが、2019年度は新規利用者が増えるなど少しずつ回復傾向にありましたが、2020年度はコロナ禍の影響で、臨時休館や短縮運営、利用団体の活動自粛などで利用件数および稼働率は低下してしまいました。しかし、コロナ後の新しい生活様式なども踏まえ、オンライン配信用の設備や機材を整備し、初心者でも安心して利用できるように、職員やスタッフによるオンライン配信のサポート体制を整えるなど、コロナ禍においても青少年育成活動が滞ることなく推進できるよう活動支援に取り組みました。また、安全に利用いただけるよう常に感染防止対策を徹底したほか、利用者に対しても変化する運営状況を丁寧に説明するなど、利用者との信頼関係構築にも積極的に取り組んだ結果、利用者アンケートにおいても、高い満足度や職員に対する信頼度を得ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度：利用件数 2,834件／利用稼働率 55.4%</li> <li>・2019年度：利用件数 4,105件／利用稼働率 66.1%</li> <li>・2020年度：利用件数 2,010件／利用稼働率 39.8%</li> </ul>
	え 相談・助言 相談・コーディネート	<p>各職員・スタッフが単なる情報提供で終わらせず、相手の話をよく聞きニーズを受け止め一緒に考える対応（寄り添い対応）を心掛けているため、相談が終わる頃には自己解決や主体的に行動してみようとする相談者の様子が多くみられました。その為、相談者から信頼が得られ、相談者の紹介で活動相談をしてくるケースも見られるようになってきました。職員も多様な相談に対応できるよう、積極的に外部の支援機関や活動場所と繋がるよう努めています。今後は、オンラインを活用した相談対応も視野に入れていきたいと考えています。</p>
	お 調査・ 第三者による事業の検証	<p>今回のテーマを「施設の有効活用や新しい活用方法」としたので、育成センターの機能や役割を理解している実践者に参加してもらったことで実効性の高い意見を得ることができました。空き倉庫を活用した子ども食堂等の食材の中継点にする案などは、次年度からすぐに取り組むことができるかと考えています。また、大学生世代と意見交換したことで、SNSを活用した若い世代の参加促進などのヒントも得ることができました。次年度以降は研修・講座や相談業務などに対する意見聴取を考えており、引き続きテーマに合わせた人選を行いたいと考えています。</p> <p>運営者側ではこれまで当たり前に思っていたことが外部から見たら非常に重要な点であるなど、気が付かなかった施設の重要性や柔軟な展開を知ることができました。これまでの凝り固まった考えや発想をブラッシュアップするためにも、引き続き、外部意見を取り込む機会を持ち、利用者目線の施設運営が行えるよう心掛けていきます。</p>

体系	項目	自己評価
B 青少年を支える人材を育成する事業	青少年に関わる人材育成のための研修・講座	<p>コロナ禍においても、青少年に対する意識や関心が薄れないよう、定員の縮小やオンラインの活用など手法を工夫し研修・講座を開催することができました。また、理解研修では「性」「自殺」「依存」といった新しいテーマに取り組むことで、講師である専門家や支援先と繋がることができ育成センターの情報量や関係性を広げることに繋がりました。スキルアップ研修に関しては、コロナ禍においても青少年活動が滞ることがないように「コロナ禍で活用できるスキル」をテーマに企画実施し、参加者からも好評でした。</p> <p>コロナ禍で新たに取り組んだ若者の社会参加プログラム「オンラインボランティア」では、自粛期間中の大学生がつながるなど、予想以上の反響を得ることができました。また、取材活動の成果をSNSで配信することで、活動の成果をボランティア自身が実感できるなど、新しい形の社会参加プログラムを生み出すことができました。今後は、ボランティア活動だけでなく研修講座や施設運営にも若者世代を巻き込み社会参加や地域に目を向ける機会を積極的に展開するなど、次世代の人材育成にも力を入れていきたいと考えています。</p>
	青少年団体等を支援するための研修・講座	<p>活動に役立つマネジメント研修では、青少年育成団体でもSNSを活用した幅広い広報活動を行えるよう企画しました。広報において映える写真の撮り方やSNSの特徴を理解した広報戦略が行えるような内容としました。コロナ禍ということもあり多くの参加者を得ることはできませんでしたが、参加者からは「すぐに実践できる内容だった」「スタッフ間でのコミュニケーションツールとして早速使ってみたい」など活用度の高い内容となりました。</p> <p>居場所づくり実践見学会では、オンラインを駆使した見学会としたことで、今後は全国の先駆的な取り組みをしている施設や活動を見学できるといった新しい可能性を生み出すことができました。また、実際に見学を行った時は、その場の雰囲気、来ている子どもたちとの対話が生まれるなど、リアルの良さを実感する機会を提供することができました。また、今回のように将来的に子どもの居場所づくりに取り組みたいと考える高校生が参加するなど、幅広い年代が参加できるような工夫も考えていきたいと思えます。</p>
	行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成	<p>青少年に関わるより多くの市民に育成センターを知っていただき、各々のニーズに合った多様な学びの場を提供していくために、他団体との連携による人材育成研修の充実を図りました。「よこはまチャイルドライン」と連携した人材育成研修では、オンライン講座での開催や講座中の運営サポートなどを行い、研修が滞りなく実施することができました。今年度は新しい団体との連携は生まれませんでしたが、継続して連携する団体との関係性・信頼性を深めることができました。</p>
	青少年団体等のネットワーク形成事業	<p>「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」は、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となりました。3月からの緊急事態宣言により、コロナ禍で不安や孤独を感じていた団体も多くあり、リアルさに欠けるもののオンラインという形でも開催した意味がありました。今後はリアル開催、オンライン開催を併用したハイブリッド開催も視野に入れ、人や団体がつながる機会を提供し続けられるよう工夫していきたいと思えます。また、「よこはまコースゼミ」においては、感染状況に応じて、リアル開催、オンライン開催、ハイブリッド開催を使い分け実施しました。多様な活動団体から若手スタッフが参加してくれたことで、多世代での意見交換が行われるなど充実した学びの場となりました。今後も「青少年」をキーワードに多世代が集いお互いの価値観を共有する機会となるよう努めていきます。</p>

## 2020年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	46,304,000		46,304,000	46,304,000	0	横浜市より
利用料金収入	2,392,000		2,392,000	807,100	1,584,900	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	1,280,000		1,280,000	202,000	1,078,000	研修・講座等参加費
自主事業収入	0		0		0	
雑入	680,000	0	680,000	821,653	141,653	
印刷代	490,000		490,000	317,425	172,575	プリントルーム収入
自動販売機手数料	90,000		90,000	25,028	64,972	自動販売機1台
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他 ( )	100,000		100,000	479,200	379,200	ロッカー貸出料金@22,200、横浜市コロナ負担金@457,000
<b>収入合計</b>	<b>51,336,000</b>	<b>0</b>	<b>50,656,000</b>	<b>48,134,753</b>	<b>2,521,247</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>25,641,000</b>	<b>0</b>	<b>25,641,000</b>	<b>20,191,361</b>	<b>5,449,639</b>	<b>(施設連携事業費)</b>
給与・賃金	21,217,000		21,217,000	16,283,542	4,933,458	(施設連携事業費500,000 -含む) ※事務スタッフ賃金含む
社会保険料	2,930,000		2,930,000	2,577,239	352,761	(施設連携事業費 -含む)
通勤手当	520,000		520,000	483,718	36,282	(施設連携事業費 -含む)
健康診断費	72,000		72,000	25,862	46,138	(施設連携事業費 -含む)
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	24,000	11,000	(施設連携事業費 -含む)
退職給付引当金繰入額	867,000		867,000	797,000	70,000	(施設連携事業費 -含む)
<b>事務費</b>	<b>955,000</b>	<b>0</b>	<b>955,000</b>	<b>706,294</b>	<b>248,706</b>	<b>(施設連携事業費含む)</b>
旅費	120,000		120,000	31,170	88,830	
消耗品費	100,000		100,000	255,926	155,926	事務物品(コピーパフォーマンス、文具、プリンタートナーなど)
会議随費			0		0	
印刷製本費	150,000		150,000	0	150,000	
通信費	250,000		250,000	7,340	242,660	
使用料及び賃借料	30,000	0	30,000	1,100	28,900	
横浜市への支払分	30,000		30,000		30,000	
その他	0		0	1,100	1,100	
備品購入費	200,000		200,000	128,611	71,389	事務用パソコン2台購入
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	11,000	1,000	
職員等研修費	60,000		60,000	63,875	3,875	事業実施に関する研修
振込手数料	35,000		35,000	42,272	7,272	
リース料	0		0		0	貸出事業にかかる経費として事業費に計上
手数料			0	165,000	165,000	スタッフ募集の掲載手数料(3回分)
地域協力費	0		0		0	
<b>事業費</b>	<b>6,550,000</b>	<b>0</b>	<b>6,550,000</b>	<b>7,549,824</b>	<b>999,824</b>	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	6,550,000		6,550,000	7,549,824	999,824	相談事業、教室(講座)事業、貸室事業にかかる経費 (事業スタッフ賃金、印刷機リース、諸謝金、広報通信費ほか)
自主事業費	0		0		0	
<b>管理費</b>	<b>14,100,000</b>	<b>0</b>	<b>14,100,000</b>	<b>16,545,411</b>	<b>2,445,411</b>	
光熱水費	0	0	0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
電気料金	0		0		0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
修繕費	100,000		100,000	757,625	657,625	小破修繕対応費
機械整備費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
設備保全費	14,000,000	0	14,000,000	15,787,786	1,787,786	施設負担金(関内ホール)
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	14,000,000		14,000,000	15,787,786	1,787,786	施設負担金(10,902,000)、廃棄物処理費、研修室什器入替、Wi-Fi整
共益費	0		0		0	
<b>公租公課</b>	<b>2,580,000</b>	<b>0</b>	<b>2,580,000</b>	<b>2,280,200</b>	<b>299,800</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,580,000		2,580,000	2,280,200	299,800	消費税、印紙税
印紙税	0		0		0	
その他 ( )	0		0		0	
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>150,000</b>	<b>0</b>	<b>150,000</b>	<b>1,029,712</b>	<b>879,712</b>	
本部分	0		0	848,922	848,922	法人本部業務維持管理費
当施設設分	150,000		150,000	180,790	30,790	会計システム保守、動産保険負担金、税理士・社労士顧問料
二一ズ対応費	0		0		0	事業費内で調整
<b>支出合計</b>	<b>49,976,000</b>	<b>0</b>	<b>49,976,000</b>	<b>48,302,802</b>	<b>1,673,198</b>	
差引	1,360,000	0	680,000	168,049	848,049	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支	0			0		

管理許可・目的外使用許可収入	30,000		47,228	25,028		
管理許可・目的外使用許可支出	30,000		60,408	0		
管理許可・目的外使用許可収支	0			25,028		